

地獄物語の世界

江戸時代の法と刑罰

世古恪太郎(延世)は伊勢松阪の富豪志士です。
安政の大獄での悲惨な獄中体験を、独特の軽妙な筆致で書き綴りました。
その名も「地獄物語」
この珍資料を詳しく紹介しつつ、江戸時代の法制度の実態を考えます。



「和漢三才図会」初版本より



「検屍必携」入墨図

2006年

4月10日(月) ~ 5月5日(金)

10:00 ~ 17:00 (土・日・祝日とも、4月27日(木)は休館)

名古屋大学中央図書館4階展示室

入場無料

主催 名古屋大学附属図書館
附属図書館研究開発室

共催 名古屋大学文学研究科
同文学研究科

後援 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
三重県教育委員会、松阪市教育委員会

ギャラリートーク

日時: 4月15日(土) 13:00~15:30

会場: 名古屋大学中央図書館5階多目的室

講師: 塩村 耕 (名古屋大学文学研究科) 「ドキュメンタリー文学としての地獄物語」
神保文夫 (名古屋大学法学研究科) 「白洲と牢屋——江戸の裁判事情」

問合せ先 名古屋大学附属図書館: 名古屋市中種区不老町(〒464-8601) (車でのご来場はご遠慮下さい) 地下鉄名城線「名古屋大学」1番出口徒歩3分
TEL 052-789-3667 (庶務掛) / FAX 052-789-3693 / 電子メール shomu@nul.nagoya-u.ac.jp / URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp

